要望書

国道 34 号大村諫早拡幅の整備促進を目指そう!!

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

国道３４号大村・諫早間整備促進期成会

会　　長	大 村 市 長	園 田　裕 史
副 会 長	諫 早 市 長	大久保 潔 重
〃	大村市議会　議長	村 崎　浩 史
〃	諫早市議会　議長	林 田　直 記
〃	大村商工会議所　会頭	中 村　人 久
〃	諫早商工会議所　会頭	黒 田　隆 雄
監　　事	大村市タクシー協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	(一社)諫早観光物産コンベンション協会 会長	酒 井　明 仁
会　　員	長崎県央農業協同組合　代表理事組合長	真 壁 正二郎
〃	長崎県トラック協会　大村支部長	村 里　宏 治
〃	長崎県トラック協会　諫早支部長	山 口　　健
〃	諫早市タクシー協会　会長	永 尾　典 嗣
〃	(一社)大村市観光コンベンション協会　会長	酒 井　辰 郎
〃	(一社)大村市物産振興協会　会長	伊 瀬　浩 三
〃	長崎空港ビルデイング株式会社　代表取締役社長	幸 重　孝 典

秋冷の候　貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より諫早市・大村市の道路行政全般に関し、格別のご高配を賜り、心から感謝いたします。

諫早市・大村市は、長崎空港や長崎自動車道インターチェンジ、現在整備中である島原道路を基盤とした高速交通の拠点都市であり、県内の交通の要衝となっております。また、西九州新幹線が本年９月に開業し、今後も産業・交流都市として更なる飛躍を目指しております。

さて、本期成会の要望項目である、一般国道３４号大村諫早拡幅事業につきましては、今年度は道路設計及び用地買収が予定され、早期完成に向けた取り組みが着実に進められていることに厚くお礼申し上げます。

このような中、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、現在、両市を含め地域経済に大きな影響が出てきており、感染症防止と併せて地域経済の回復が急務であります。

つきましては、県央地域の経済活性化・発展を推進するには、一般国道３４号大村諫早拡幅の整備が不可欠であり、整備促進に向け引き続き、より一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

国道３４号大村･諫早間整備促進期成会
会長　大村市長　　園　田　裕　史

要　望　事　項

一　防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、５か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むことついて要望いたします。

一　資材価格が高騰する中でも必要な道路整備が安定的に進められるよう、補正予算を速やかに編成し、成立させるとともに、令和５年度の道路予算における所要額の満額確保について要望いたします。

一　頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる確保について要望いたします。

一　県央地域における物流、観光及び地域経済を支え、他の地域との連携強化や交流人口拡大、社会経済活動の活性化など長崎県全体の発展に寄与する、「一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進」について要望いたします。

一般国道３４号大村諫早拡幅の整備促進について

本県を南北に走る主要幹線道路の一般国道３４号は、諫早市側の本野入口交差点改良事業及び大村市側の大村拡幅事業により、それぞれ４車線化され、渋滞緩和など一定の効果が現れています。

しかしながら、両事業区間を結ぶ大村市与崎から諫早市本野間の４．４kmが２車線のままで、ボトルネックとなっていることから、一日３万３千台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯を中心に混雑が恒常化しており、交通事故発生時には更なる渋滞が発生するなど、社会・経済活動の支障となっています。さらには、近年全国各地で激甚化する豪雨災害の発生が問題化しており、本事業区間においても、雨水排水対策の重要性が高まっていると認識しております。

本区間は、県央生活圏における交通ネットワークの重要な路線であり、当該区間の整備により、地域間交流が益々促進され、県央地域の更なる発展に大きく貢献するものであります。

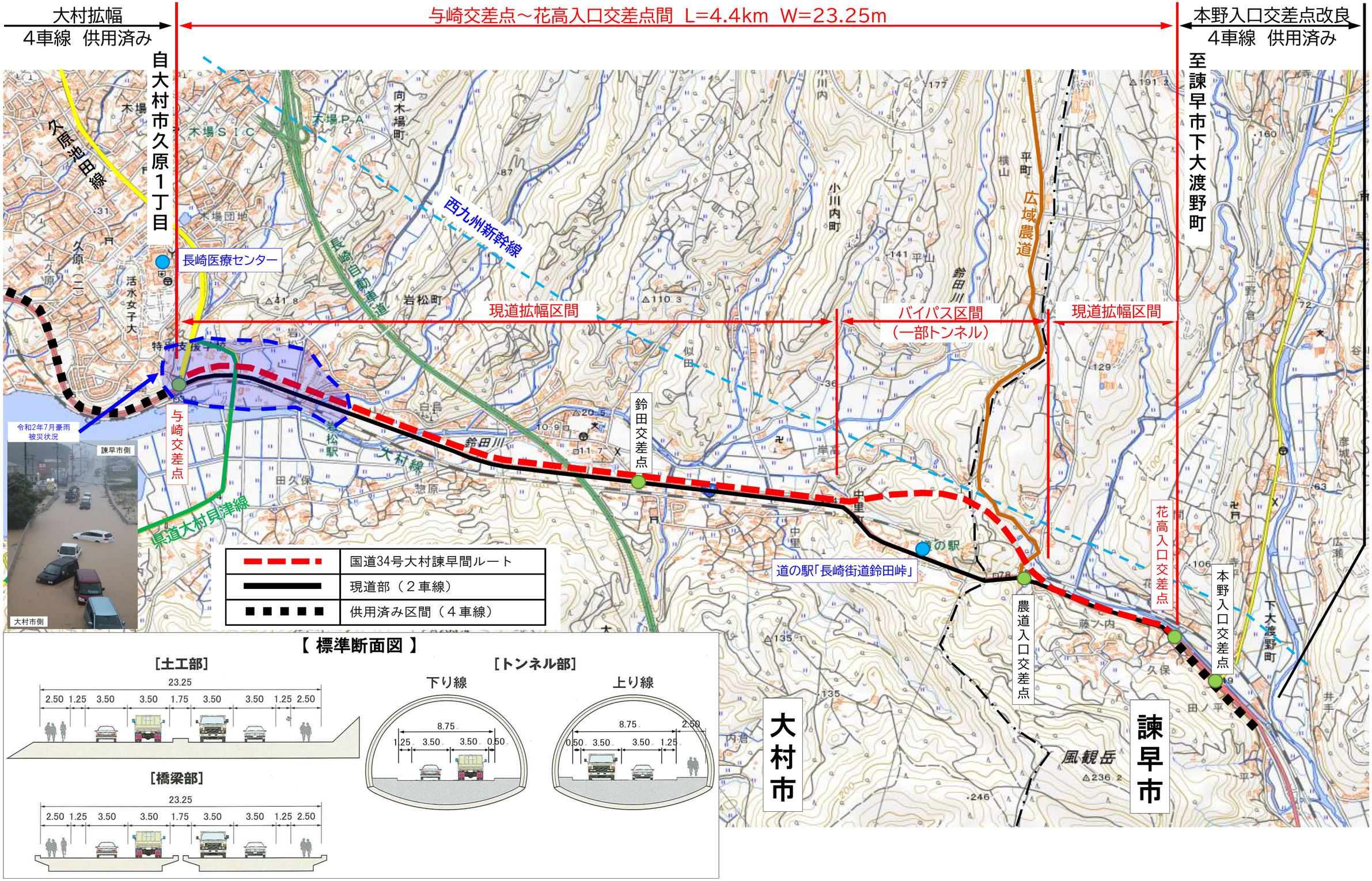
また、諫早北バイパス沿線では、大規模住宅団地が整備中であり、本年９月に西九州新幹線が開業したことも相まって、交通量の大幅な増加も見込まれることから、本区間の４車線化の必要性はさらに増しています。

本国道が交通・物流による地域経済の活性化にとどまらず、国土強靭化においても極めて重要な役割を担う主要幹線道路であることから、**大村諫早拡幅事業の整備促進**について、より一層のご高配を賜りますようお願いいたします。

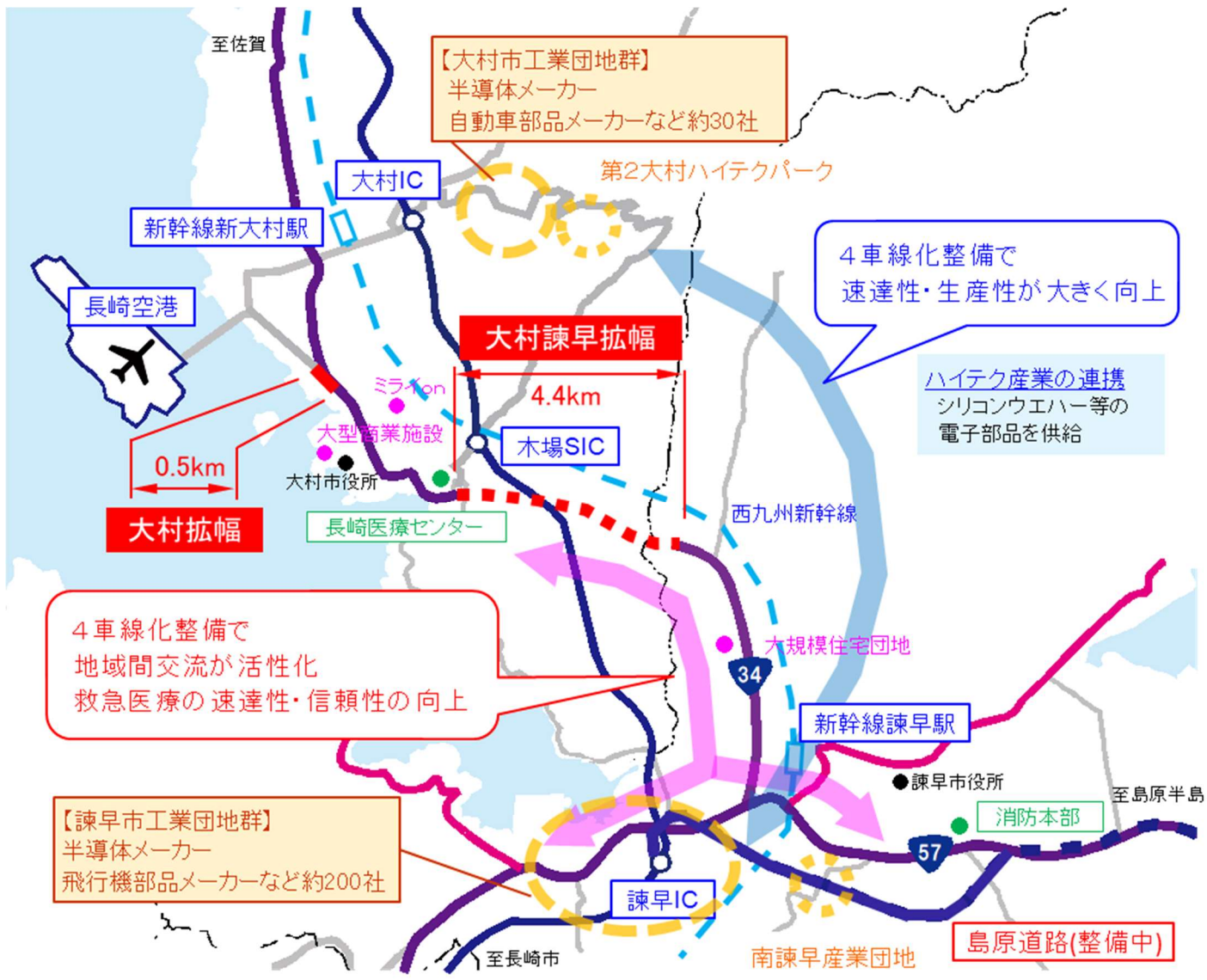
二本松ﾊﾞｽ停付近状況

与崎交差点付近事故状況

国道３４号大村諫早拡幅　要望区間

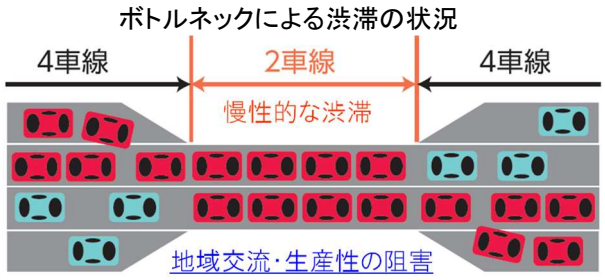


国道34号は長崎県央地域の大動脈



交通量　３．３万台/日
県内２車線区間で最多の交通量

ボトルネックによる渋滞の状況



４車線化により円滑交通を確保

地域ポテンシャルをさらに高めて、地域創生へ貢献

全国初ＥＭＴＡＣ（医師同乗救急車）

医療センター内の消防署機能を活かし、
高度な救命措置により救命率の向上へ

新幹線新大村駅

新幹線諫早駅

西九州新幹線　令和4年9月開業

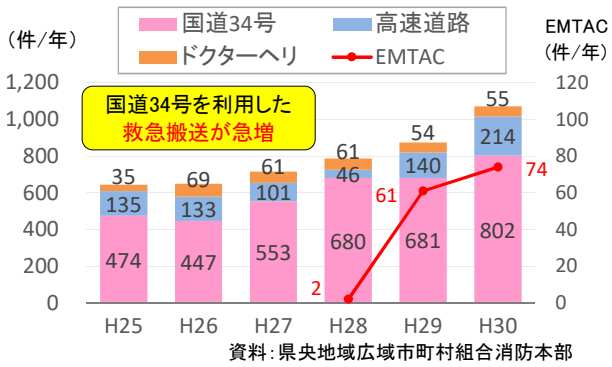
木場スマートＩＣ

平成30年3月開通

長崎空港

年間利用者数 326 万人(H30)

■諫早市から医療センターへのルート別搬送件数



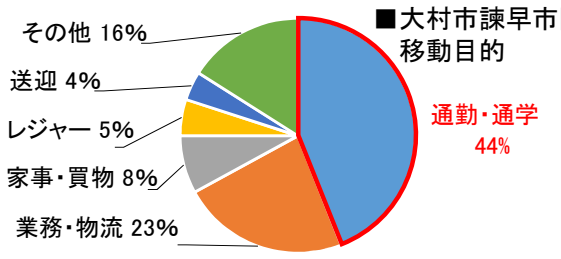
島原道路

令和4年5月開通
（長野 IC～栗面 IC）

ミライｏｎ図書館

令和元年10月開館

■大村市諫早市間の
移動目的



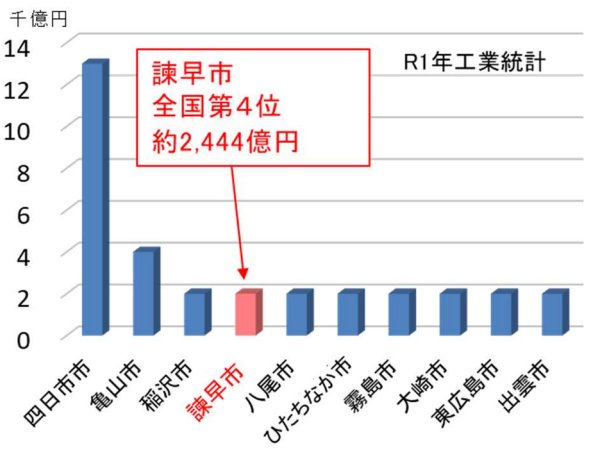
大村市諫早市は生活圏が一体

＊「新幹線・高速道路・空港」高速交通ネットワークの充実
＊ ポテンシャルを高めて、定住拠点・交流人口を促進

産業連携強化で地域経済活性化を図り、雇用を創出

ハイテク産業の連携

■電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額



ハイテク産業が地域経済を牽引

第２大村ハイテクパーク

平成３１年４月分譲開始
雇用創出者数１０００人

南諫早産業団地

令和３年度分譲開始
（１工区）

４車線化によって速達性・生産性が大きく向上

＊ 工業団地の拡張、高まる投資に応える交通ネットワークの充実
＊ 圏域の一体性をさらに高めて生産性の向上と雇用創出の促進